

はままつくらしの情報



えらっく

海産物の電話勧誘販売・
送り付けトラブルが増加！

2023. 1

編集・発行

浜松市くらしのセンター

〒432-8032

浜松市中区海老塚町51-1

【電話相談】

市民相談 457-2025

交通事故相談 457-2233

消費生活相談 457-2205

海産物の電話勧誘販売や送り付けのトラブルが全国的に増加しており、2021年度全国の相談件数は前年度比2倍以上(5,194件※)、2022年度は昨年度をさらに上回ることが想定されています。冬はカニなど海産物の購入機会が増えるため、トラブルが増加する可能性があります。特に注意しましょう。



今月号では、海産物の電話勧誘販売や送り付けのトラブル事例と注意点を紹介します。

※2021年度 独立行政法人国民生活センター集計値

◆ 事例1 コロナ禍で困っているとされていて海産物を購入したら・・・

海産物の販売業者から「コロナ禍で困っている。カニもたくさん入っているし、サービスする」と電話で言われ、支援するつもりで購入した。代引き配達で商品が届き、約22,000円を支払って受け取ったが、カニは入っておらず、他の海産物も値段に見合わないものだった。事業者に電話したがつながらない。(60歳代 男性)



◆ 事例2 電話で海産物を勧誘されて断ったが、届くのではないかと心配

以前購入してもらった事業者だと名乗り、海産物の勧誘電話がかかってきた。購入しないと伝えたが、「通常2万円が1万円になる」「ありがとうございました」と一方的に電話を切られた。海産物が送られてきた場合は、どうしたらよいか。(70歳代 女性)

◆ ひとことアドバイス

○少しでもおかしいと感じたら、きっぱりと断りましょう。

○事業者からの勧誘電話で契約したときは、クーリング・オフができます。

○一方的に商品が送られてきても受け取らないようにしましょう。

○困った時、不安に思った時、トラブルにあった時は**浜松市くらしのセンター**等に相談しましょう。

今年はずさぎ年だよ

(浜松市くらしのセンター：457-2205、消費者ホットライン188)

【参考・引用】2022年11月24日独立行政法人国民生活センター公表情報



副業のトラブルに注意！ 消費者庁が注意喚起(2022年11月17日公表)

「スマホで簡単 月収100万円」「定型文を送付しただけで報酬発生」などとうたい、高額なサポートプランを契約させられたという相談が全国的に多数寄せられています。簡単に儲かる話には裏があります。注意しましょう。



エシカルコラム Vol.73 エコラベル



エコラベル紹介の第3弾です。

今月号を含めて12種類のエコラベルを紹介しましたが、環境に配慮し、エシカル消費^{*}につながるマークは、紹介したマーク以外にも数多くあります。買い物をするときどのようなマークがあるのか探してみると、新しい発見があるかもしれませんね。

※エシカル消費：人・社会、地域、環境に配慮した消費行動(買い方、使い方、捨て方)

人・社会、地域、環境に配慮したラベル

グリーンマーク



グリーンマーク

原則として古紙を40%以上(ただし、トイレットペーパー、ちり紙については100%、新聞用紙、コピー用紙については50%以上)利用して作られた製品に付けられています。古紙の利用拡大、紙のリサイクル促進を目指しています。

牛乳パック再利用マーク



使用済み牛乳パックを原料として使用した製品につけられるマークです。牛乳パック再利用の促進を図るため、1992年に制定されました。トイレットペーパー、ティッシュペーパー、印刷用紙などにラベルが付けられています。

レッドカップキャンペーン



飢餓や貧困に苦しむ子どもたちに、学校給食を届けるための国連WFP協会によるキャンペーンです。対象商品の売上の一部が学校給食を支援する活動に寄付されます。スナック菓子、即席ラーメン、てんぷら粉などにラベルが付いています。

バイオマスマーク



バイオマスマーク

天然由来の資源を利用しつつ、品質や安全性が保障された製品に付けられます。植物原料の商品は二酸化炭素の発生を抑え、温室効果ガスの対策に貢献しています。レジ袋、セロテープ、ストロー、スナック菓子のパッケージなどにラベルが付いています。

主要生活物資価格調査結果は、総務省統計局が実施している「小売物価統計調査」をご覧ください(<https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/index.html>)



消費者庁イラスト集より